

マルチ押さえ土ほぐし機

# 土ほぐしディスク

## THD-130

# 取扱説明書



この製品を安全に、また正しくお使いいただくために  
必ずこの 取扱説明書 をお読みください。

間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。  
お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。



# 目次

はじめに	1
安全に作業するために	2
梱包内容	3
各部の名称及び仕様	4
組立要領	5
トラクタへの取付方法	8
■標準3点リンク直装（0,1型）の場合	8
■標準オートヒッチSカブラの場合	9
調整方法	10
■ディスク角度の調整	10
■ディスク幅の調整	10
■ディスク深さの調整	11
作業方法	12
■各部の調整	12
■土ほぐし作業	12
トラクタからの取外し方法	13
■標準3点リンク直装（0,1型）の場合	13
■標準オートヒッチSカブラの場合	14
不調の発見と処置	15
清掃と保管	15

この度は土ほぐしディスク THD-130 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

## はじめに

### 使用目的について

土ほぐしディスク THD-130 はトラクタに装着し、作物収穫後のマルチを回収しやすくするためにマルチのすそを押しさえている土をディスクでほぐすことを目的とした作業機です。  
他の使用や改造などは故障や事故を引き起こすおそれがありますので、決しておこなわないでください。  
他の使用や改造などをした場合は補償の対象になりませんのでご注意ください。

### ご使用前に

- この取扱説明書は、土ほぐしディスク THD-130 の取扱方法と使用上の注意事項を説明したものです。ご使用前には必ずこの取扱説明書を理解するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品とともに保存してください。
- 本製品を貸したりゆずり渡されたりする場合は、この取扱説明書を製品に添えてお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または汚損された場合は速やかにお買い上げ先にご注文ください。
- 品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には本書の内容及びイラストなどの一部が本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げ先にご相談ください。
- ▲印の下記マーク付きの項目は安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。



### 危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



### 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



### 注意




その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。


# 安全に作業するために

ここに記載している注意事項を守らないと、傷害や事故及び機械の損傷が生じるおそれがあります。





## ○取付時の注意項目

 <b>警告</b>	作業機の着脱は平坦な場所でおこなってください。また、手袋を着用しディスク部は持たないようにしてください。 [守らないと] 作業機脱落により破損、またはケガをまねくおそれがあります。
 <b>注意</b>	作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。 [守らないと] ケガをまねくおそれがあります。
 <b>注意</b>	ロアリンクピンとトップリンクピンは必ずリンチピンで抜け止めをしてください。 [守らないと] 作業機脱落により破損、またはケガをまねくおそれがあります。


## ○移動時の注意項目

 <b>注意</b>	移動時は本製品からウェイトを必ず外してください。 [守らないと] 車や人との接触事故をまねくおそれがあります。
---	--

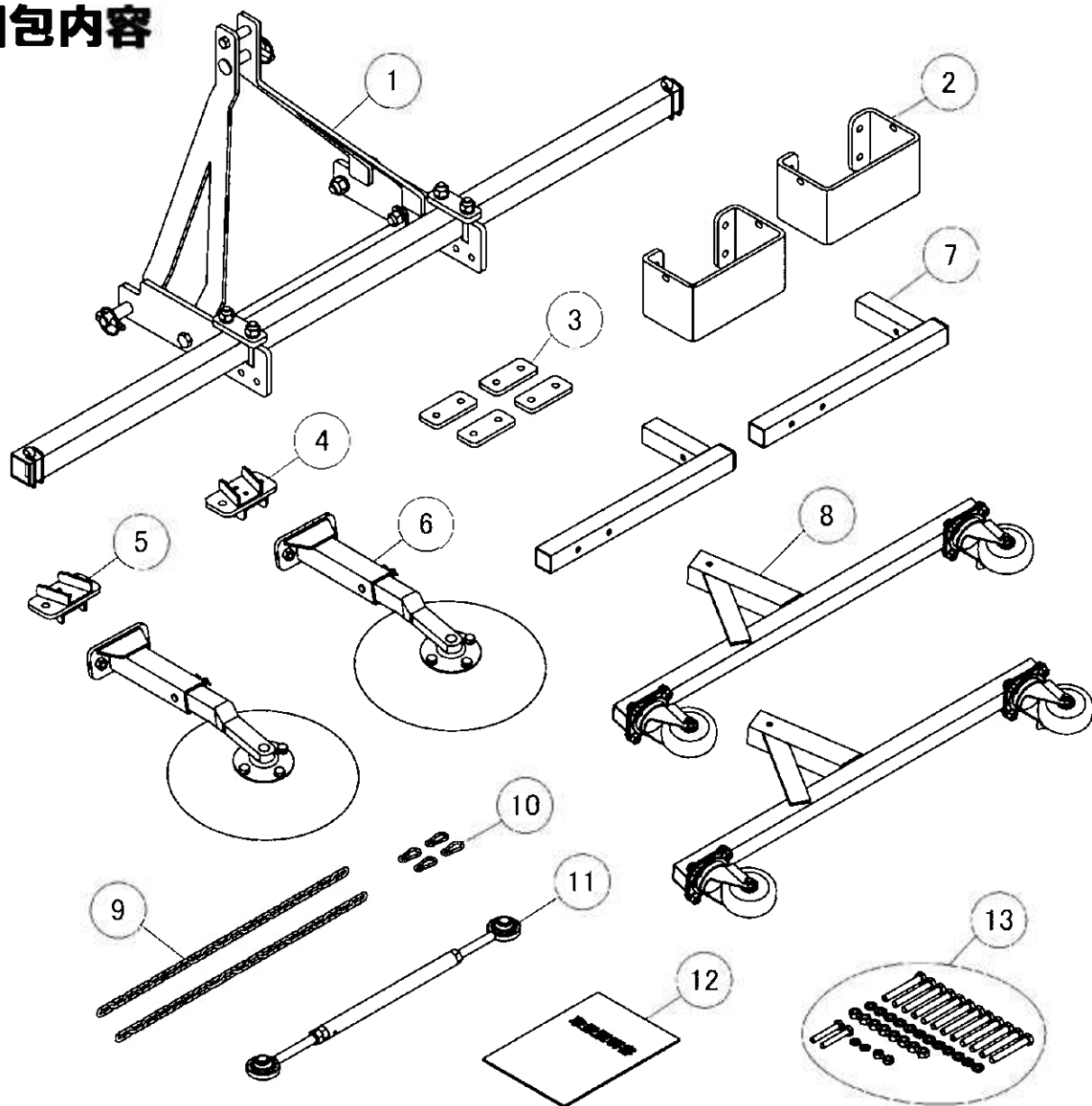
## ○作業時の注意項目

 <b>警告</b>	石やコンクリートなど硬いところにぶつけますと、ディスク破損のおそれがありますので取扱には十分注意してください。また、ヒモなどがディスク軸にからまないよう十分注意して操作してください。 [守らないと] 破損及び巻き込み等により、ケガをするおそれがあります。
 <b>警告</b>	ディスク回転時はディスクへ手や身体を近づけないで下さい。 [守らないと] 巻き込み等により、ケガをするおそれがあります。
 <b>注意</b>	トラクタ旋回時や作業機下降時は周辺に注意してください。 [守らないと] 人や物との接触事故を起こすおそれがあります。
 <b>注意</b>	作業機の調整はトラクタのエンジンを停止した状態でおこなってください。 [守らないと] 不意な作動によりケガをするおそれがあります。

## ○清掃・整備時の注意項目

 <b>注意</b>	清掃や整備はトラクタのエンジンを停止させ、手袋を着用しておこなってください。 [守らないと] 不意な作動によりケガをするおそれがあります。
--	--

# 梱包内容

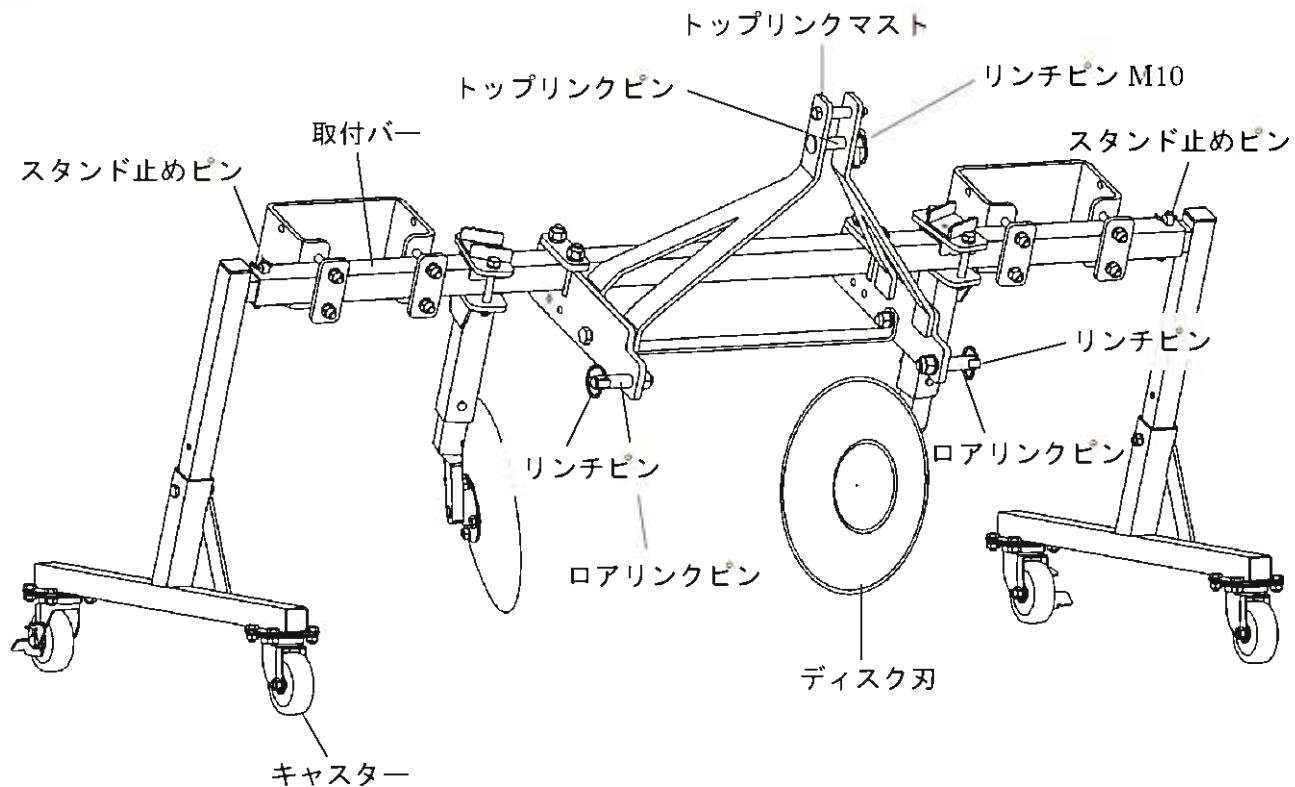


## ◎梱包明細

No.	名 称	個 数
1	フレーム部	1
2	ウェイトブラケット	2
3	ウェイトブラケット締付プレート	4
4	ディスク固定金具 R	1
5	ディスク固定金具 L	1
6	ディスク部	2
7	スタンド上部	2
8	スタンド下部	2
9	チェーン	2
10	スプリングフック	4
11	ターンバックル	1
12	取扱説明書	1
13	袋入りパーツ	1

# 各部の名称及び仕様

## ◎各部の名称



## ◎仕様

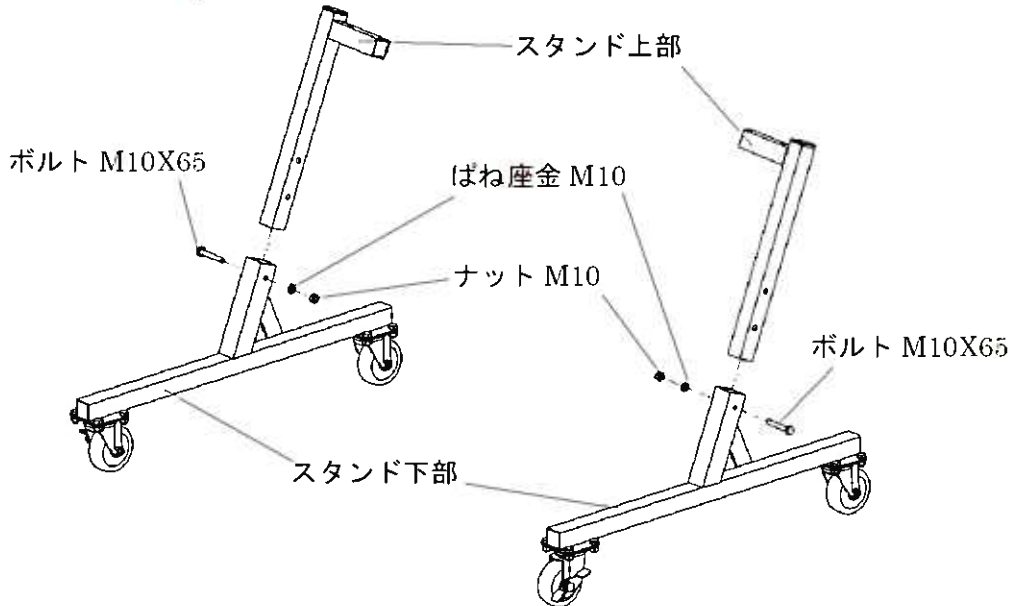
型式	THD-130
重量 (スタンド込み)	65kg
対応うね幅	400~1300mm
対応うね高さ	~400mm
適応トラクタ (kW {PS})	9.6~ {13~}
装着方法	標準3点リンク JIS 0・1 型 標準オートヒッチ S カプラ

# 組立要領

**注意** ディスク刃等でケガをしないよう、手袋を着用して組み立ててください。

## ① スタンド上部とスタンド下部を組み付ける

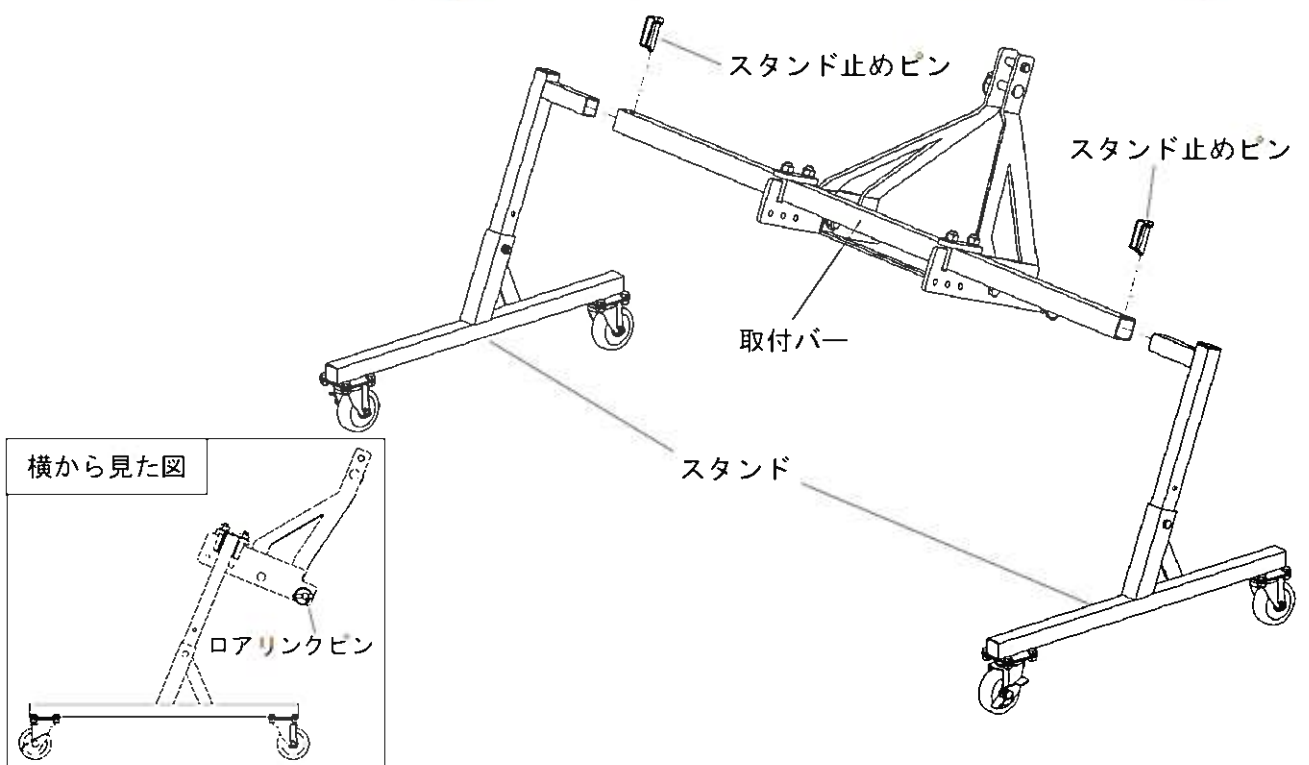
スタンド下部にスタンド上部を図の向きで差し込み、ボルト M10X65 とナット M10 とばね座金 M10 を使用して固定します。



**注意** 本製品は大きく重いため、必ず複数名で組付作業をおこなってください。

## ② フレーム部にスタンドを組み付ける

フレーム部の取付バー両端に①のスタンドを差し込み、スタンド止めピンで取り付けます。

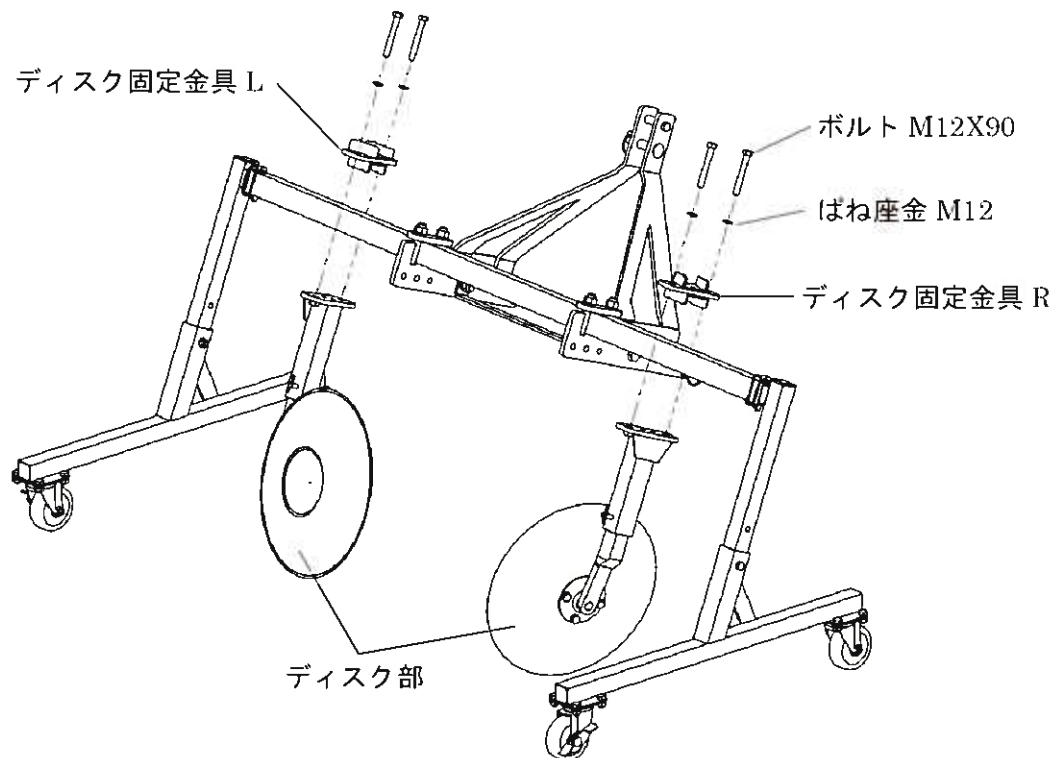




③ディスク部を取付バーに組み付ける

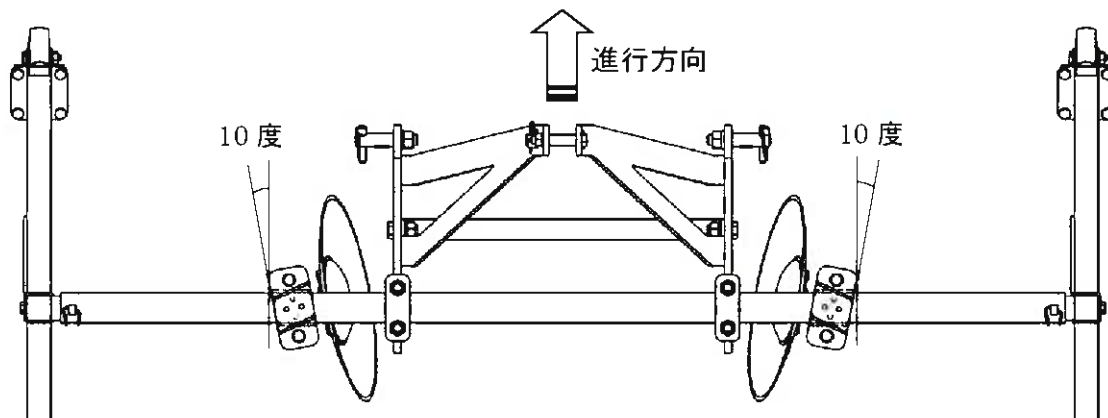
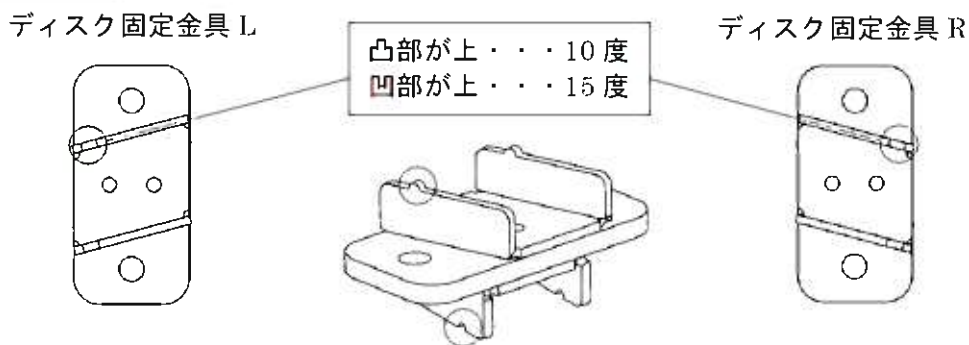
ディスク部とディスク固定金具 L・R で取付バーを挟むようにして、ボルト M12X90 とばね座金 M12 を使用して組み付けます。

ディスク間の幅はうねのすそ幅に合わせてください(細かな位置調整は圃場でおこなってください)。



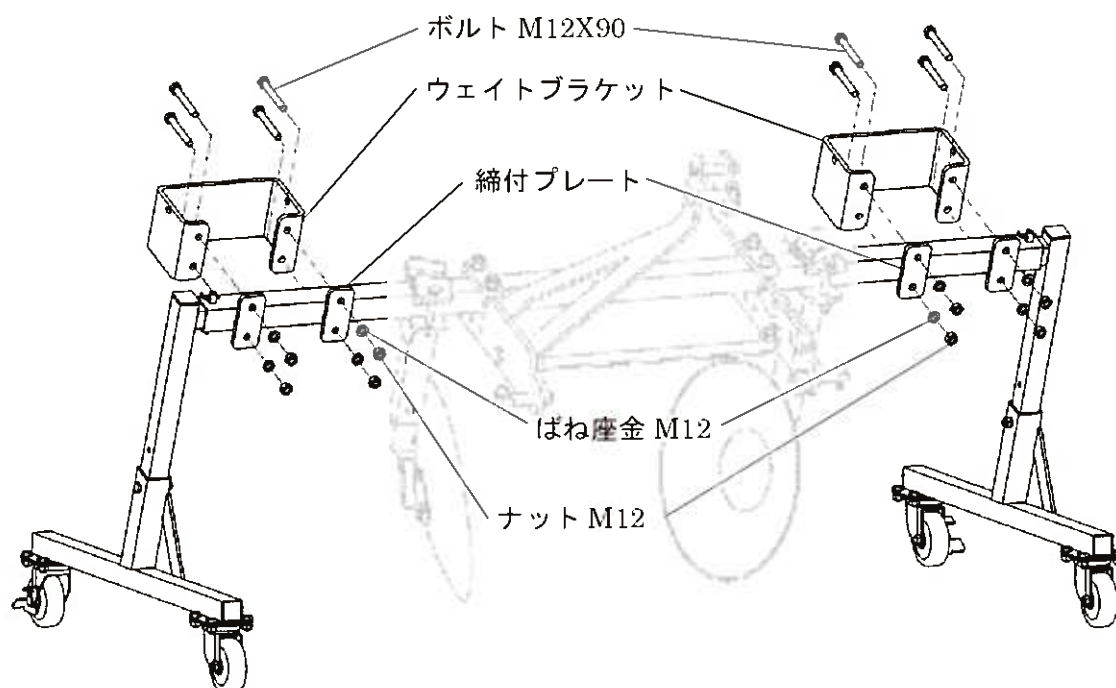
※下図でディスク固定金具 L・R の左右・表裏の向きを確認してから取り付けてください。(進行方向に向かって左側が L、右側が R です。)

上から見た図



#### ④ウェイトブラケットを取付バーに組み付ける

ウェイトブラケットと締付プレートで取付バーを挟むようにして、ボルト M12X90、ばね座金 M12、ナット M12 を使用して組み付けます。左右振り分け位置で固定します。

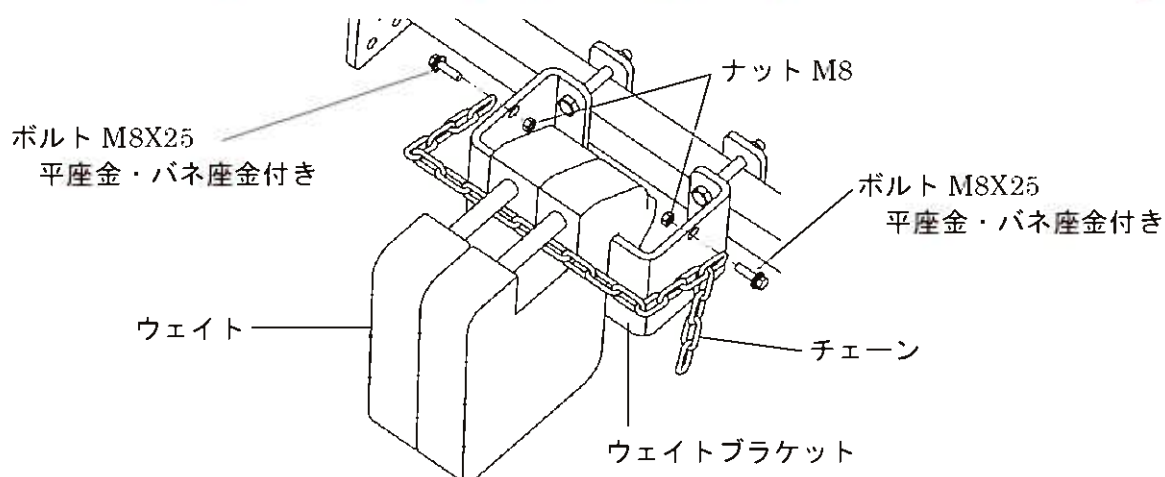


#### ⑤ウェイト(別売り)をウェイトブラケットに載せる

ウェイトブラケットにウェイトを引っ掛けます。圃場の状態により重さを調整してください。目安は 80~100kg です。

#### ⑥チェーンを組み付ける

ウェイト脱落防止のためウェイトにチェーンを通し、片方のチェーン端をボルト M8X25 (平座金・バネ座金付き) とナット M8 でウェイトブラケット側面の穴に固定します。もう片方は、チェーンがたるまない位置でボルト M8X25 (平座金・バネ座金付き) とナット M8 で固定します。



※ウェイトの形状によっては取り付けられない場合があります。

### ⚠ 注意

移動時は本製品からウェイトを必ず外してください。

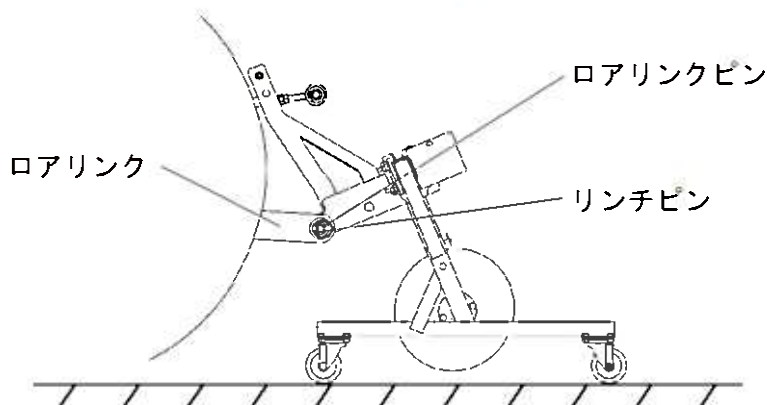
# トラクタへの取付方法

## ⚠ 注意

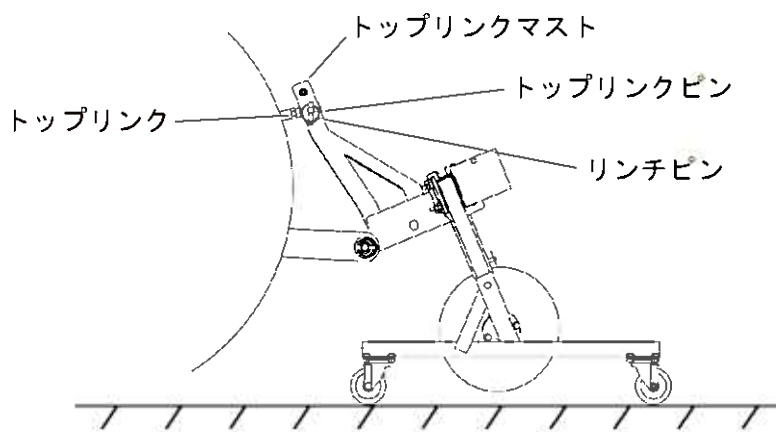
作業機の着脱は平坦な場所でおこなってください。

### ■標準 3 点リンク直装 (0, 1 型) の場合

- ①トラクタの中心と土ほぐしディスクの中心を合わせ近づけます。
- ②トラクタの左右のロアリンクに土ほぐしディスクのロアリンクピンを通します。抜け止めにリンチピンを取り付けてください。



- ③トップリnkの長さを調整し、トップリnkピンで土ほぐしディスクのトップリnkマストに取り付けます。抜け止めにリンチピンを取り付けてください。



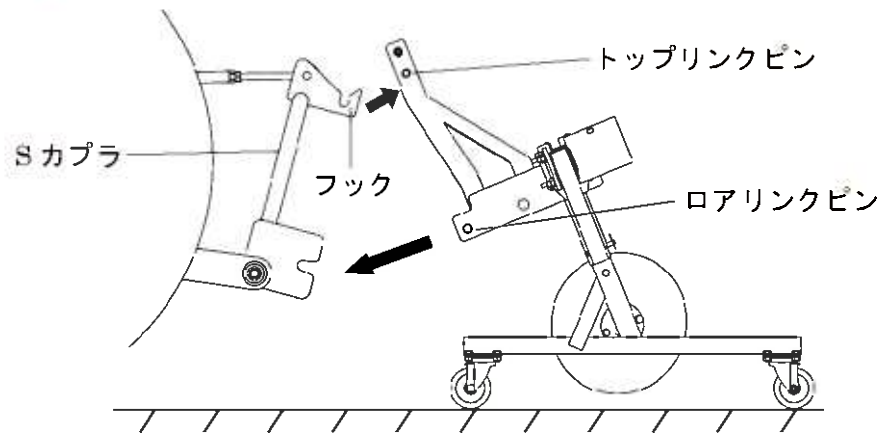
- ④装着後、トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）でスタンドが地面から離れるまで上げ、フレーム部の取付バー両端にあるスタンド止めピンを抜いてスタンドを外します。

## ⚠ 注意

ロアリンクピンとトップリnkピンは必ずリンチピンで抜け止めをして、土ほぐしディスクが完全に装着されていることを確認してください。

## ■標準オートヒッチ S カプラの場合

- ①トラクタの S カプラのロック解除レバーをロック側に倒しておきます。自動ロック機構でない場合は、装着後にロックしてください。
- ②トラクタの中心と土ほぐしディスクの中心を合わせながらトラクタを後進させます。
- ③S カプラ上部のフックで土ほぐしディスクのトップリンクピンをすくい上げます。そのまま持ち上げていくと自動的にロアリンクピンも連結します。うまく連結できない場合は、トップリンクの長さを調整してください。



※左右のロアリンクピンが確実にロックされていることを確認してください。

- ④装着後、スタンド止めピンを抜いてスタンドを外します。

### ⚠ 注意

S カプラのロックをかけて、土ほぐしディスクが完全に装着されていることを必ず確認してください。

# 調整方法

**注意** ディスク刃等でケガをしないよう、手袋を着用して調整してください。

## ■ディスク角度の調整

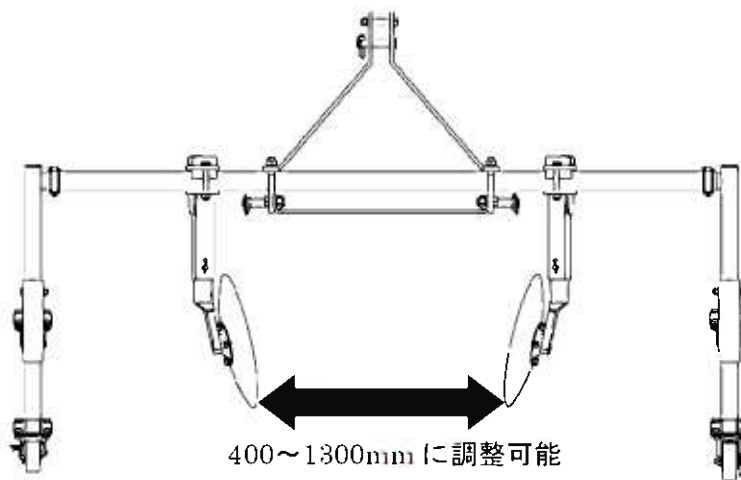
- ・圃場の状態によって、ディスクの角度を 10 度あるいは 15 度に設定します。
- ・6 ページのディスク固定金具の図を確認して、取り付けてください。

## ■ディスク幅の調整

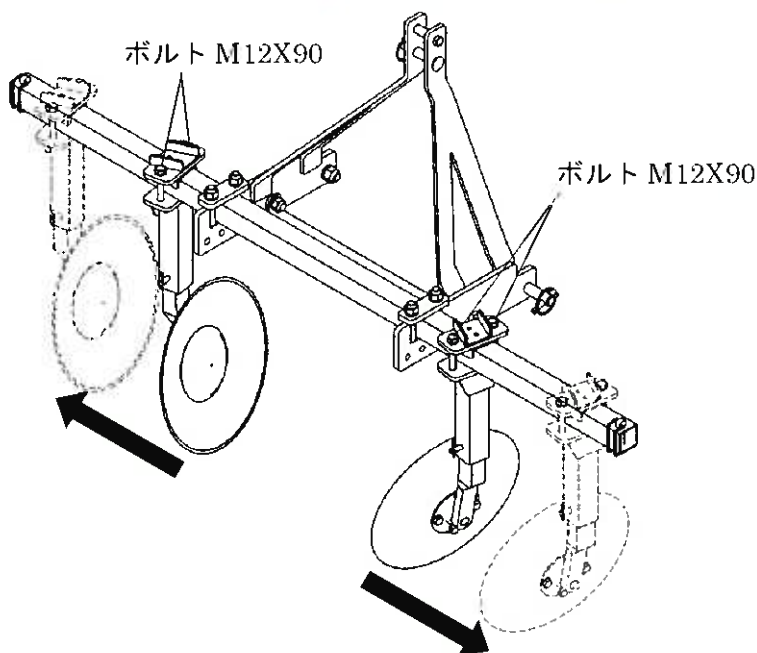
うね幅に合わせてディスク幅を調整することができます。

以下の手順で、ディスク端の幅を作業されるうねのすそ幅に合わせてください。

調整の際、ウェイトブラケットが干渉する場合は、先にウェイトブラケットを外してから以下の調整をおこない、調整後にウェイトブラケットを取り付け可能な位置で固定してください。



- ① ディスク固定金具のボルト M12X90 をゆるめます。
- ② ディスク部を任意の位置に移動させます。左右振り分けの位置になるようにしてください。

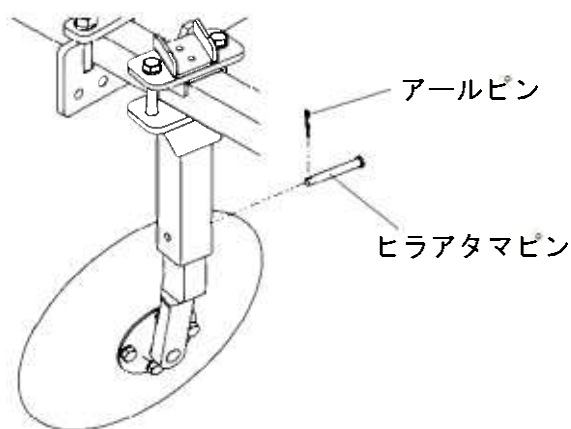


- ③ ①でゆるめたボルト M12X90 を締付けて、ディスク固定金具を固定します。

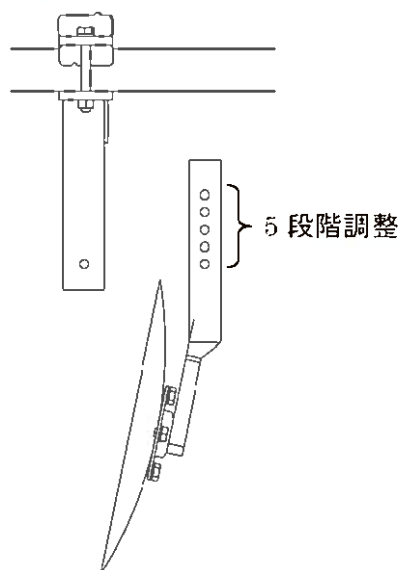
## ■ ディスク深さの調整

ディスクの深さを調整することで土のほぐし具合を変えることができます。  
実作業の前に試し作業をして作業深さの確認をしてください。

- ① ディスク部のヒラアタマピンについているアールピンを外し、ヒラアタマピンを外します。  
※ディスクの下に足や手などが入らないように注意してください。




- ② ディスク取付穴の任意の位置にヒラアタマピン、アールピンを付け替えます。  
5段階のディスク深さ調整が可能です。



また、ウェイトを載せることでディスクをより土に押しえつけることができます。ウェイトの取付方法は7ページを確認してください。

重さの目安は80~100kgで、圃場の状態により重さを調整してください。

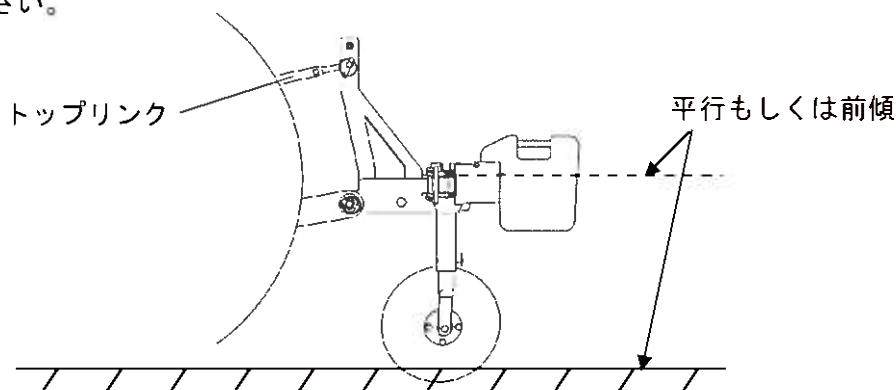
# 作業方法

 <b>警告</b>	<p>石やコンクリートなど硬いところにぶつけますと、ディスク破損のおそれがありますので取扱には十分注意してください。また、ヒモなどがディスク軸にからまないよう十分注意して操作してください。</p> <p>〔守らないと〕 破損及び巻き込み等により、ケガをするおそれがあります。</p>
--	---

## ■各部の調整

ディスクの作業角度、作業幅、作業深さの調整は 10・11 ページの「調整方法」を参照して調整してください。

圃場で土ほぐしディスクの取付バーが地面と平行もしくは前傾姿勢になるように、トップリンクの長さを調整してください。



## ■土ほぐし作業

- ①土をほぐしたいうねの中心とトラクタの中心が合うよう、トラクタを移動させます。
- ②土ほぐしディスクを下げ、マルチのすそにかぶせている土の上にディスクを押し付けます。
- ③トラクタを前進させ、土をほぐしていきます。

※ディスク角度が大きいほど、ディスクにかかる力が大きくなるため、作業速度を落として作業してください。

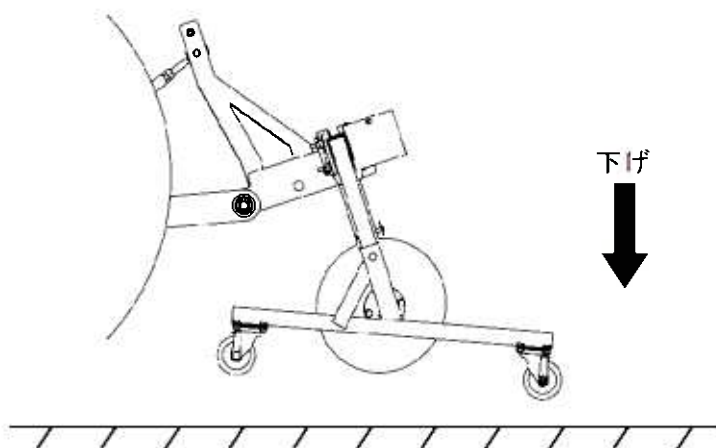
# トラクタからの取外し方法

## ⚠ 注意

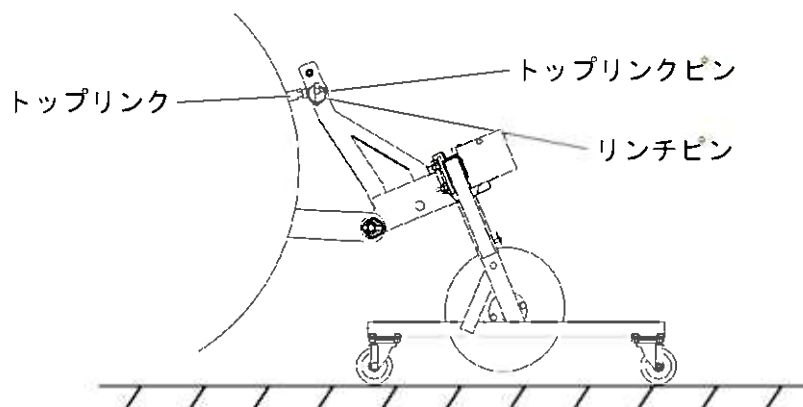
作業機の着脱は平坦な場所でおこなってください。

### ■標準3点リンク直装(0,1型)の場合

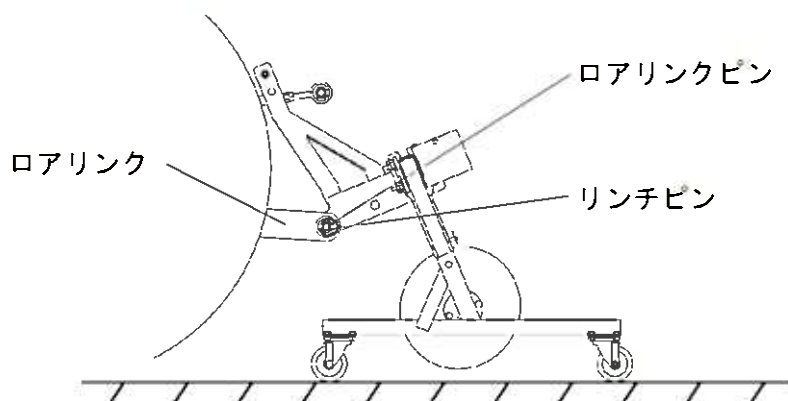
- ①作業機昇降レバー(油圧レバー)を上げて、スタンドが装着できる高さまで上げます。
- ②スタンドをフレーム部の取付バーに差し込み、スタンド止めピンを使用して取り付けます。  
※スタンドの左右の向きに注意してください。
- ③作業機昇降レバー(油圧レバー)を下げて、土ほぐしディスクをゆっくり地面に下ろします。



- ④トップリンクピンのリンチピンを外してトップリンクピンを抜き、トップリンクを外します。



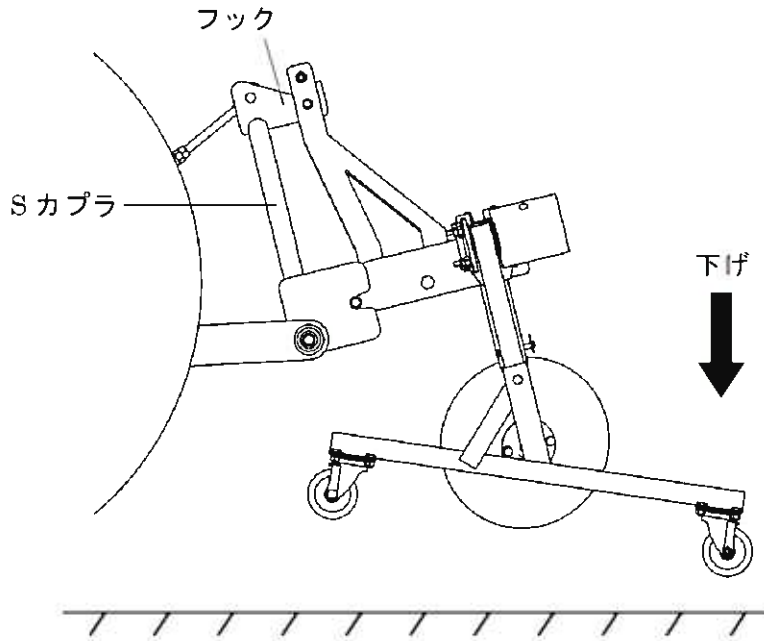
- ⑤ロアリンクピンのリンチピンを外して、トラクタの左右のロアリンクから土ほぐしディスクのロアリンクピンを外します。





## ■標準オートヒッチ S カプラの場合



- ①作業機昇降レバー（油圧レバー）を上げて、スタンドが装着できる高さまで上げます。
- ②スタンドをフレーム部の取付バーに差し込み、スタンド止めピンを使用して取り付けます。
- ③S カプラのロックを解除し、S カプラ上部のフックが外れるまで作業機昇降レバー（油圧レバー）をゆっくり下げて、土ほぐしディスクを下ろします。



## 不調の発見と処置

- ・不調を発見したらすぐにその原因を調べて処置をし、故障が広がらないようにします。
- ・原因がわからないときや、修理調整しても再発するときは“お買上げ先”に相談し、点検サービスを受けてください。

## 清掃と保管

 <b>注意</b>	清掃や整備は必ず手袋を着用しておこなってください。
 <b>注意</b>	作業機の着脱は平坦な場所でおこなってください。

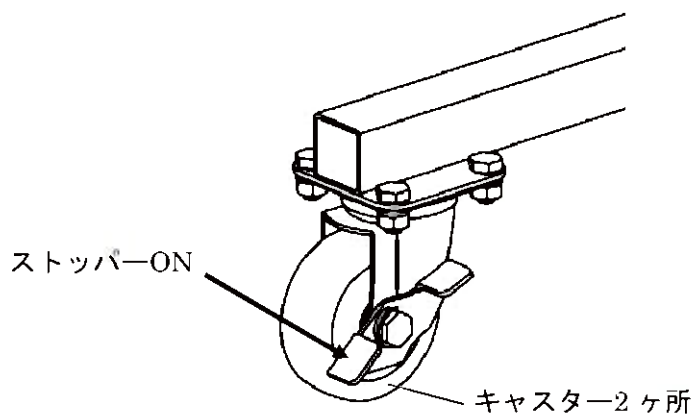
### ◎清掃について


1日の作業が終了した時、各部に付着している泥、土等を必ず取り除いてください。

※清掃をおこなわないと、部品が固着して幅調節ができないなど正常な状態で使用できなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

### ◎保管について

13・14 ページの「トラクタからの取外し方法」を参照して土ほぐしディスクをトラクタから外し、スタンドのキャスター2ヶ所のストッパーを「ON」にして保管してください。



 <b>警告</b>	スタンドのキャスター2ヶ所のストッパーを「ON」にして保管してください。 【守らないと】 本製品が不意に動き出し、人や物との接触事故を起こすおそれがあります。
---	--



取扱説明書品番 31928 001M0

2021. 9 月

製造元



株式会社 ジョーニシ

〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野4番1号  
TEL 0748 (62) 4110 (代表) FAX 0748 (62) 9054  
<https://www.jonishi.co.jp>